

令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸

1 事業の成果

嘉瀬川と嘉瀬川流域における地域活性化、観光・産業振興に資するため、不特定多数の市民・団体等を対象とした各種イベントの実施、各種メディアを用いた広報活動等を行った。事業実施に当たっては、市報等を通して不特定多数の市民、団体等に幅広く呼び掛け、一般市民が参加可能な公益事業となるよう努力した。今年度も、国土交通省武雄河川事務所、佐賀市河川砂防課から嘉瀬川防災施設さが水ものがたり館の運営支援事業を受託し、防災及び環境に関する各種事業を実施した。今年度、佐賀県においてもコロナ感染は継続したが、年度当初に計画した事業のうち、天候不良によりカヌー・川下りイベントは中止せざるを得なかったが、その他の事業はコロナ感染対策を十分に行ってうえで、実施することができた。

また通常のさが水ものがたり館の運営管理補助事業の他に、国土交通省から河川協力団体に認定されていることで、武雄河川事務所から「嘉瀬川石井樋周辺利活用及び管理検討会」運営の受託を受け、石井樋周辺における利活用策を討議する検討会を開催するとともに、議論の中で重点的に実施すべき事項とされたキャンプ・バーベキューに関して、社会実験として大井手堰横の河川敷をキャンプ・バーベキューに利用する仕組みを整えて市民に開放し、河川敷の利活用における課題を探った。

国土交通省、佐賀県、市町村、関連団体等で「嘉瀬川ダム竣工10周年記念事業実行委員会」を結成し、これまで続けてきた嘉瀬川ダム感謝祭を含む「嘉瀬川ダム竣工10周年記念事業」を計画したが、コロナウィルス感染の再拡大を受けて中止に追い込まれた。ただし、「牡蠣礁復活事業と森林公園水環境復活事業」は、昨年度に引き続き荏原環境プラント「e-さが基金」の支援を得て、計画通りに実施することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
①嘉瀬川と嘉瀬川流域に関連した環境教育及び生涯教育に関する事業	さが水ものがたり館の運営補助 石井樋公園内のさが水ものがたり館の運営補助を佐賀市及び国土交通省武雄河川事務所から受託し、事業を行うことができた。コロナ禍にもかかわらず多く来訪した小学生に「暴れる水と命の水」の大切さや成富兵庫茂安の治績等を説明することができた。さらに、水の科学実験、水生昆虫観察等の体験学習を実施（6回）した。さが水ものがたり館のメイン事業である嘉瀬川交流塾は、バス見学会の2回開催を含め、例年同様12回開催することができた	(A) 休館日を除く毎日 (B) さが水ものがたり館 (C) 10名程度	(D) 佐賀市を中心とした一般市民 (E) 1.4万人程度	9,668 ✓
②嘉瀬川流域の地域連携及び地域づくりに関する事業	佐賀県KAWARUチャレンジ事業 近年災害が増えていく中、自助力の向上と視野の展開に助けとなるよう、嘉瀬川をフィールドにロープワーク、刃物の研ぎ方、刃物の使用方法、テントの設営方法、魚の釣り方、水の浮力実験、ツリークライミングサバイバル技術を学ぶ「自然塾」を実施した。	(A) 5月5、22日 7月15、21、22日 8月28日 11月22日 12月23日 延べ8回 (B) さが水ものがたり館 (C) 延べ20名	(D) 佐賀県内からの児童生徒 (E) 80人程度	625

②嘉瀬川流域の地域連携及び地域づくりに関する事業	さが水ものがたり館館長出張出前講義 嘉瀬川流域においても、平成29年度の九州北部豪雨、令和2年7月豪雨時に浸水被害が発生し、水防災に関する関心が高まりつつある。佐賀市内の自治会・公民会を中心に防災に関する講演依頼が多く寄せられ、それに応じて合計18回の出張出前講義を行った。	A) 令和2年4月～令和3年3月 (B) 公民館等各所 (C) 1名	(D) 主催者が募集した一般市民 (E) 総参加者概数700人程度	0
④嘉瀬川及び嘉瀬川流域における防災や水利用を含めた環境問題の啓蒙、調査研究に関する事業	河川協力団体受託事業 昨年同様、河川協力団体として河川法にともなう受託事業を受けて「嘉瀬川石井樋周辺利活用及び管理検討会」を運営する事業を受託し、専門家・市民の参加を得て3回の検討会を実施し、嘉瀬川及びクリーク・水路における防災と水辺の利活用に関する検討を行い、提案を行った。 加えて、嘉瀬川の利活用に関する利活用のモデルとして石井樋公園大井手堰脇の河川敷をキャンプ・バーベキューに利用するシステムを提案し、社会実験としてキャンプ場の運営を行った。	A) 9月～2月計3回 B) さが水ものがたり館 スタッフ延べ9名	専門家・まちづくり協議会会長等に依頼した委員 延べ120名	900
⑤嘉瀬川及び嘉瀬川流域の環境の創出等に関する事業	森林公園水環境復活事業 3町（嘉瀬・久保田・鍋島）まちづくり協議会、国交省武雄河川事務所、佐賀県佐賀土木事務所、森林公園管理者等と連携し、佳原環境プラント「e-さが基金」の支援を得て、森林公園自然池北端に設置したビオトープ・水路に自然池から常時循環水を供給し、流水のある水路を維持することができた。また、毎年実施している自然池の池干し事業を行った。	(A) 1) 環境検討委員会 5月26日、6月16日、9月22日、12月8日 2) 自然池池干し 11月13日 (B) 1) 森林公園管理事務所 2) 森林公園自然池 (C) 5名	(D) 1) 環境検討委員会委員 2) 一般市民 (E) 総参加者 1) 延べ120名 2) 220名	528
⑤嘉瀬川及び嘉瀬川流域の環境の創出等に関する事業	兵庫竹林活用・カキ礁復活事業 佳原環境プラント「e-さが基金」の支援を得て、石井樋公園内竹林の竹を切り、有明海に立て込む事業を行った。 1) 兵庫竹林の竹切り 2) カキ礁復活のための竹立て	(A) 竹切り作業 1) 12月9日 干潟竹立て 2) 8月1日 (B) 1) 水ものがたり館周辺 2) 嘉瀬川河口 (C) 5名	(D) 佐賀市民 (E) 延べ85名程度	80
合計（銀行返却分を除く）				11,802